

えほん版 ブックリスト

# ビーだま



2014年 No.39

<編集・発行>

富山市立図書館

富山市丸の内1丁目4-50

電話 076-432-7273

平成27年4月23日発行

(年2回発行)

2014年7月～12月に図書館に入った本の中から、  
とくにおすすめの本をしょうかいします。



いいないいな

かたやま けん／さく 福音館書店



ぷうちゃんが、犬の顔やうさぎの背中を触って「いいな いいな」、動物たちもぷうちゃんのほっぺやお腹を触って「いいな いいな」と言います。

ぷうちゃんと動物たちが、お互いのいいところを褒めあうやりとりを、ほほえましく描きます。

[赤ちゃん～]

## ママ、あのね

福田 幸広／写真 ゆうき えつこ／文 岩崎書店



「ママ、あのね。」ウサギやペンギンなど、動物の赤ちゃん達がお母さんに甘えてお話しします。お母さんは優しいまなざしで赤ちゃんを見つめ、応えてくれます。

親子の表情豊かな写真に、愛情あふれるやりとりがそえられています。

[赤ちゃん～]



## くろねこさん しろねこさん

得田 之久／ぶん 和歌山 静子／え 童心社

くろねこさんとしろねこさんが散歩に出かけます。家の影に入ると、くろねこさんの姿が消え、洗濯物の白いシーツの前では、しろねこさんが見えなくなってしまいました。

色の見え方の不思議を、シンプルな絵で表しています。



[幼児～]



## あげます。

浜田 桂子／作 ポプラ社



ママが、生まれたばかりの赤ちゃんと家に帰ってきました。ママやパパにかまってもらえなくなった男の子は、友達に赤ちゃんをあげてしまおうと思いつきます。

赤ちゃんに注目が集まる中、家族をふりむかせようとするお兄ちゃんの奮闘を描きます。

[幼児～]

## あかちゃんうさぎとパパ

パッツィ・スキヤリー／さく リチャード・スキヤリー／え  
木坂 涼／やく 好学社



うさぎ一家の末っ子は、大きくなったら何になるのでしょうか。警察官？カウボーイ？みんなで想像をふくらませますが、本人が憧れていたのは意外な人物でした。

赤ちゃんの成長に、思いをめぐらす家族のあたたかさが伝わります。

[幼児～]



## ぼくのかぼちゃ

かもがわ しの／作 こぐま社

ともくんが、お母さんと育てたかぼちゃ。スープにプリン、いろんなかぼちゃ料理が楽しみです。ところが収穫前、おさるさん親子がかぼちゃを持って行ってしまいました。

かぼちゃの成長を待つ男の子の様子を、切り紙の版画でユーモラスに描きます。

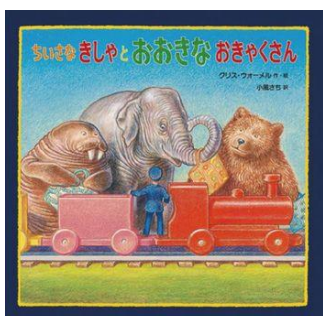


[幼児～]



## ちいさなきしゃとおおきなおきやくさん

クリス・ウォーメル／作・絵 小風 さち／訳 徳間書店



小さな汽車に、セイウチ、クマ、ゾウが無理やり乗り込み、町を目指します。買い物のもと、あふれんばかりの荷物とともに駅に現れ、運転士さんは大あわて。

さいごの思いがけない展開が楽しく、笑いを誘います。

[幼児～]

## はなちゃんのぼうし

丹治 匠／さく こぐま社

はなちゃんの大好きな空色の帽子が、風で飛ばされました。帽子はいろいろな所をめぐり、とうとうお月さまの頭の上へ。

スピード感あふれる展開で、帽子の大冒険を描きます。

[幼児～]



## クリスティーナと

## おおきなはこ

パトリシア・リー・ゴーチ／作

ドリス・バーン／絵

おびか ゆうこ／訳 偕成社

クリスティーナは大きな箱をもって大喜び！箱がお城や秘密基地、レーシングカーに変身します。

想像力豊かな女の子が、生き生きと描かれています。

[幼児～]



## トビのめんどり

ポリー・アラキジャ／作

さくま ゆみこ／訳 さ・え・ら書房

トビのめんどりが、卵を一つ二つ三つと産んで、ひよこがかえりました。そのひよこもめんどりになり、卵を産みはじめます。

数を数えるのが楽しい、アフリカが舞台の絵本です。

[幼児～]



## おーい！ふじさん！

大山 行男／しゃしんことば

クレヴィス

長年にわたり富士山を撮り続けた作者が、写真にぴったりのことばをそえています。

「ふじさんは、おおきいね」「とおくからでもみえるよ」様々な表情の富士山に出会えます。

[幼児～]

